

データヘルス計画 第3期計画書

最終更新日：令和6年02月13日

ジャックス健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	28013
組合名称	ジャックス健康保険組合
形態	単一
業種	金融業、保険業

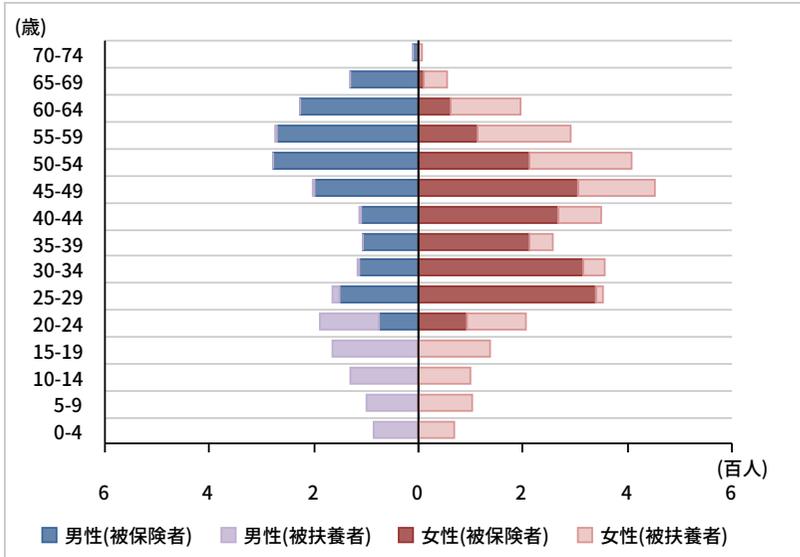
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	3,595名 男性46.4% (平均年齢48.21歳) * 女性53.6% (平均年齢39.71歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保 険者数	0名	-名	-名
加入者数	5,689名	-名	-名
適用事業所数	4カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠 点 数	73カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	88% ₀₀	-% ₀₀	-% ₀₀

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-

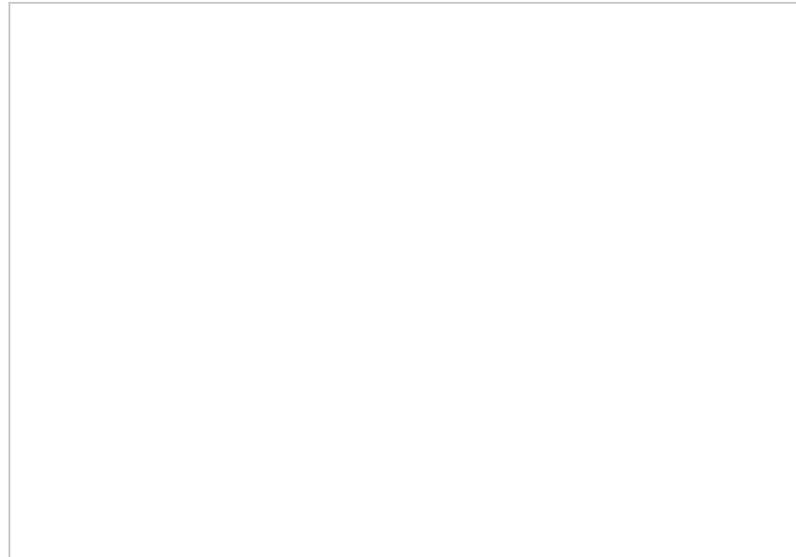
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	2,768 / 3,001 = 92.2 %	
	被保険者	2,163 / 2,185 = 99.0 %	
	被扶養者	605 / 816 = 74.1 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	172 / 375 = 45.9 %	
	被保険者	163 / 345 = 47.2 %	
	被扶養者	9 / 30 = 30.0 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	21,000	5,841	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	11,420	3,177	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	20,000	5,563	-	-	-	-
	疾病予防費	153,000	42,559	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	200	56	-	-	-	-
	小計 …a	205,620	57,196	0	-	0	-
経常支出合計 …b	2,124,752	591,030	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	9.68		-	-	-	-	

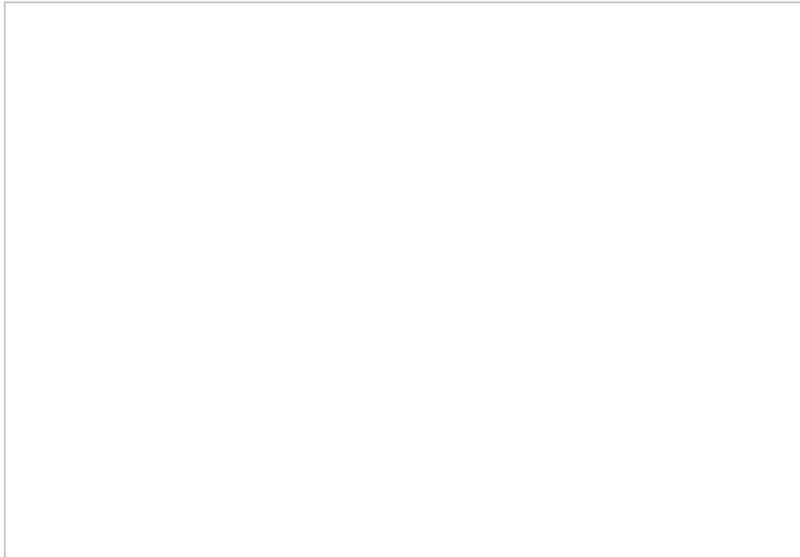
令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	75人	25～29	150人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	113人	35～39	108人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	109人	45～49	200人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	277人	55～59	270人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	226人	65～69	129人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	11人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	91人	25～29	340人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	316人	35～39	212人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	269人	45～49	304人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	211人	55～59	113人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	61人	65～69	9人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	86人	5～9	98人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	131人	15～19	166人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	112人	25～29	14人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	5人	35～39	1人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	4人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	2人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	69人	5～9	104人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	100人	15～19	138人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	113人	25～29	12人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	41人	35～39	46人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	81人	45～49	148人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	195人	55～59	178人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	134人	65～69	46人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	6人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

被保険者は、女性が1割弱多く、そのほとんどが60歳未満である。男性は、60才以上が2割を占めているため、平均年齢が女性より8.5才高い。
被扶養者は、女性が男性の倍以上おり、年齢層も幅広い。男性はほとんどが学生である。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・被保険者は、生活習慣病検診（オプション検診含む）が定期健診と同時実施のため受診率が高い。
- ・被扶養者は、毎年生活習慣病検診を受診している者のヘルスリテラシーは高いが、全く受診しない者が一定数存在する。
- ・再検査・精密検査の受診勧奨を行うことで、健診後のフォローアップがされるようになった。

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	コラボヘルスマーケティング
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	健康がイト及びICTを活用した健診結果の情報提供（kencoM）
保健指導宣伝	健康保険組合ホームページ
保健指導宣伝	機関誌の発行
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ウォーキングキャンペーン（みんなで歩活）
疾病予防	腎機能重症化予防
疾病予防	生活習慣病検診（がん検診を含む）
疾病予防	オプション検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種費用補助
疾病予防	無料歯科健診
疾病予防	禁煙キャンペーン
疾病予防	ジャックス健康ダイヤル
その他	星野リゾート・トマム
その他	セラヴィリゾート泉郷
予算措置なし	受診勧奨
予算措置なし	再検査対象者に対する受診勧奨
予算措置なし	後発医薬品差額通知
予算措置なし	家庭用常備薬の販売斡旋
事業主の取組	
1	ジャックス健康ダイヤル

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
予算措置なし	1	コラボヘルスマーケティング	事業主との健康課題の共有、実施	母体企業	男女	- ~ -	その他	0	通年(月1回)	事業主における課題の把握	-	2
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2,3	健康ポータル及びICTを活用した健診結果の情報提供(kencom)	加入者全員にkencomへ登録してもらい、日々のウォーキングや健康情報の閲覧を促す。健診結果をわかりやすく提供し、自身の健康状態を認識してもらう。	全て	男女	19 ~ 74	加入者全員	10,807	通年	事業主と共同でポイント付与を行うことで、被保険者の登録率が高い。	健診結果閲覧について、登録後の認証が必要なおもあり、関心が低い。	3
	2,5,7	健康保険組合ホームページ	ヘルスリテラシーの向上、加入者の利便性向上	-	-	- ~ -	-	694	通年	事業主が設けるポータルサイトへのリンクの掲載	認知度が上がらない	2
	5	機関誌の発行	ヘルスリテラシーの向上	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	2,688	季刊	時期に合わせて、広報すべき内容を掲載している。	マンネリ化。	3
個別の事業												
特定健康診査事業	3,4	特定健診	健診実施の促進	全て	男女	40 ~ 74	加入者全員	20,220	被保険者 4月~9月 被扶養者 4月~2月	定期健診を兼ねているため、被保険者の受診率ほぼ100%を達成できている。	被扶養者の受診に強制力がないため、必ず一定程度の未受診者が発生してしまう。	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	特定保健指導を実施することにより、生活習慣病を未然に防ぐ。	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	5,197	4月~7月	当年度の健診前に特定保健指導を実施することで、モチベーションが保ちやすくなり、改善割合が上がった。	毎年同じ対象者が選ばれてしまうことによるマンネリ化。	3
保健指導宣伝	5	ウォーキングキャンペーン(みんなで歩活)	運動習慣の定着	全て	男女	19 ~ 74	加入者全員	229	5月・11月	参加賞を事業主と共同で設けることで、参加者が大幅に増加した	ランキング上位の固定化	2
疾病予防	4	腎機能重症化予防	人工透析の予防	全て	男女	19 ~ 74	被保険者	0	通年	腎機能の特化し、数値が低下している者にピンポイントでアプローチする	令和5年度からの事業のため、効果が不明	1
	3,4	生活習慣病検診(がん検診を含む)	加入者の健康状態を、健康保険組合と加入者両方が把握する。	全て	男女	30 ~ 74	加入者全員	117,070	被保険者 4月~9月 被扶養者 4月~2月	定期健診と合わせて実施することで、被保険者の受診率ほぼ100%を達成できている。	被扶養者の受診に強制力がないため、必ず一定程度の未受診者が発生してしまう。	4
	3	オプション検診	生活習慣病検診にプラスし、より詳しい検査を受けてもらい、疾病の早期発見を目指す。	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者、その他	17,501	被保険者 4月~9月 被扶養者 4月~2月	生活習慣病検診と同時受診が可能であるため、利用者が増えている。検査項目によっては、対象者に個別通知を行うことで、機会の損失が起きないようにしている。	検診予約システム導入により、利便性が上がり、過剰受診が発生している。	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	3	インフルエンザ予防接種費用補助	インフルエンザの罹患予防及び重症化予防	全て	男女	0～74	加入者全員	2,240	10月～2月	事業主が実施する集団接種及び補助金のWEB申請	新型コロナウイルス蔓延で、予防接種の種類が増えた	3
	3	無料歯科健診	受診の促進	全て	男女	0～74	加入者全員	95	通年	加入者の負担がない	認知度が上がらない	-
	2,5	禁煙キャンペーン	禁煙の促進	全て	男女	19～74	被保険者	303	1月～	希望者に対して提供しているためモチベーションが高い	チャンピックスの供給停止	3
	5,6	ジャックス健康ダイヤル	疾病の予防	全て	男女	0～74	加入者全員	80	通年	事業主、労働組合と協働で運用しており、事業主からの働きかけがある	相談をするという行為そのもののハードルが高い	2
その他	8	星野リゾート・トマム	利用促進	全て	男女	0～74	加入者全員,その他	48	通年	インバウンドの影響で、管理費用がほとんどかからなくなっている	北海道に1か所のみ施設であるため、利用者が限定される	1
	8	セラヴィリゾート泉郷	加入者の保養	全て	男女	0～74	加入者全員	100	通年	全国に施設が存在する	-	3
予算措置なし	4	受診勧奨	重症化の予防	全て	男女	40～74	基準該当者	0	通年	事業主と共同で行っており、個別に通知し返信を求めているため受診者が増えている	一定数の岩盤層の存在	3
	3,4	再検査対象者に対する受診勧奨	健康診断後のフォローによる早期治療の促進、重症化の予防	全て	男女	30～74	基準該当者	0	通年	個別に通知しているため、受診への意識が高まっている	健診機関による差異	-
	7	後発医薬品差額通知	医療費の適正化、ジェネリック医薬品の利用率向上	全て	男女	0～74	加入者全員	0	通年	費用がかからない	ホームページを閲覧する必要があるため、対象者に認識がないと伝わらない	1
	8	家庭用常備薬の販売斡旋	セルフメディケーションの促進	全て	男女	18～72	被保険者	0	11月	ドラッグストアより安価な商品があり、自宅や会社に送付される	補助等行っていないため、家の近所で購入することも多い	2

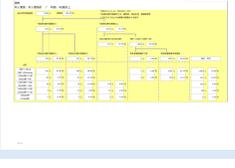
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

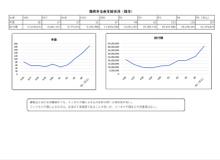
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
ジャックス健康ダイヤル	加入者の健康づくりが目的。 健保組合、労組との共同事業。被保険者、被扶養者がフリーダイヤルで利用。メンタル相談も受け付けている。	被保険者 被扶養者	男女	- ~ -	健康電話相談：利用実績139件 メンタルカウンセリング：利用実績17件	共同事業のため、事業主・労働組合・健康保険組合の3者で推進している。	-	有

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		生活習慣病医療費	医療費・患者数分析	-
イ		生活習慣病医療費	医療費・患者数分析	-
ウ		前期高齢者数と医療費	医療費・患者数分析	-
エ		糖尿病リスク	健康リスク分析	-
オ		糖尿病リスク	健康リスク分析	-
カ		脳卒中・心筋梗塞リスク	健康リスク分析	-

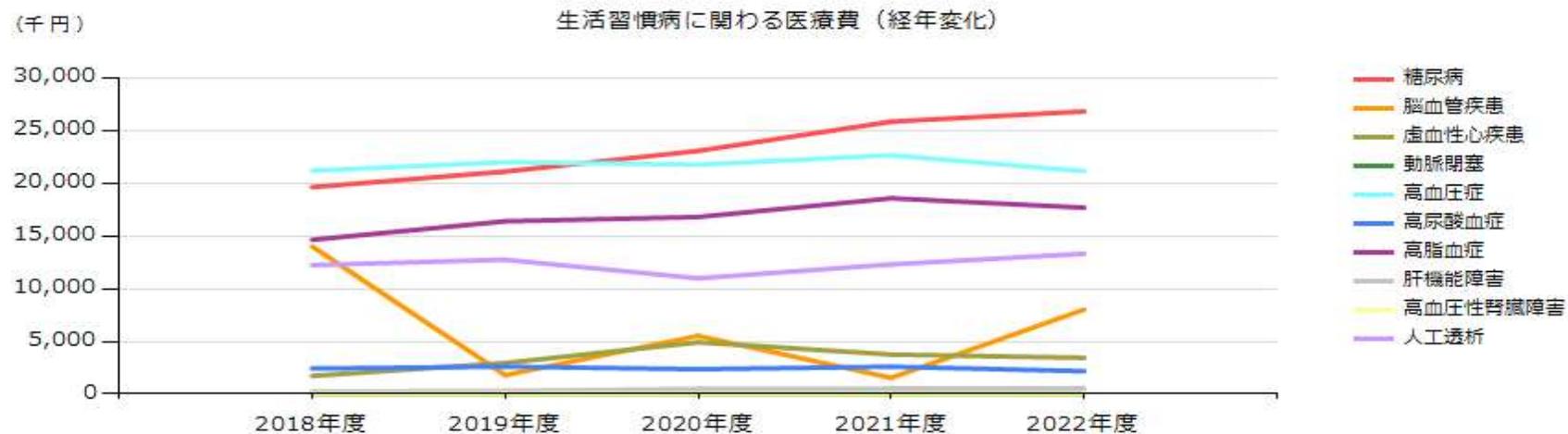
キ		脳卒中・心筋梗塞リスク	健康リスク分析	-
ク		慢性腎臓病リスク	健康リスク分析	-
ケ		健診レベル判定分布	特定健診分析	-
コ		傷病手当金	その他	-

2022年度 生活習慣病医療費の経年変化

強制

診療区分：医科計／性別：男女計／年齢階層：年齢階層計

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	医療費総額	比較指数								
糖尿病	19,666,700	1.00	21,147,050	1.00	23,114,630	1.00	25,896,020	1.00	26,871,660	1.00
脳血管疾患	14,019,220	1.00	1,782,680	1.00	5,528,850	1.00	1,528,870	1.00	8,030,620	1.00
虚血性心疾患	1,709,090	1.00	2,941,470	1.00	4,912,310	1.00	3,748,670	1.00	3,432,430	1.00
動脈閉塞	0	-	180	1.00	0	-	0	-	0	-
高血圧症	21,234,060	1.00	22,043,060	1.00	21,805,700	1.00	22,701,650	1.00	21,177,060	1.00
高尿酸血症	2,414,640	1.00	2,602,650	1.00	2,352,390	1.00	2,597,390	1.00	2,158,670	1.00
高脂血症	14,662,670	1.00	16,421,970	1.00	16,830,770	1.00	18,605,160	1.00	17,713,930	1.00
肝機能障害	207,220	1.00	288,180	1.00	478,880	1.00	513,150	1.00	512,160	1.00
高血圧性腎臓障害	40	1.00	2,910	1.00	3,760	1.00	8,640	1.00	4,060	1.00
人工透析	12,256,350	1.00	12,764,190	1.00	11,001,560	1.00	12,320,820	1.00	13,325,760	1.00

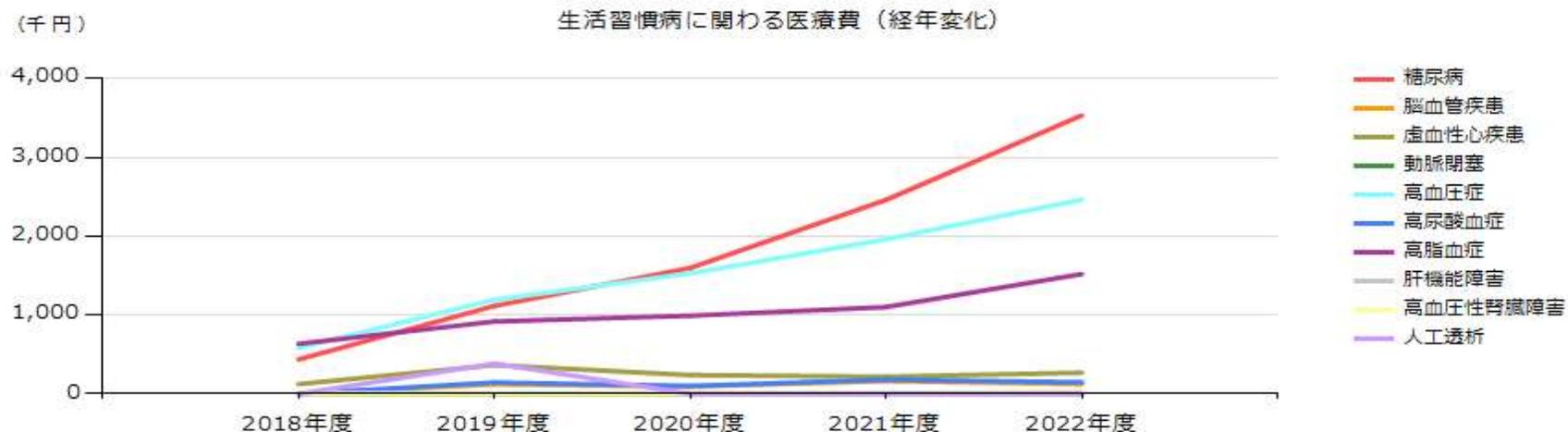


2022年度 前期高齢者の生活習慣病医療費の経年変化

強制

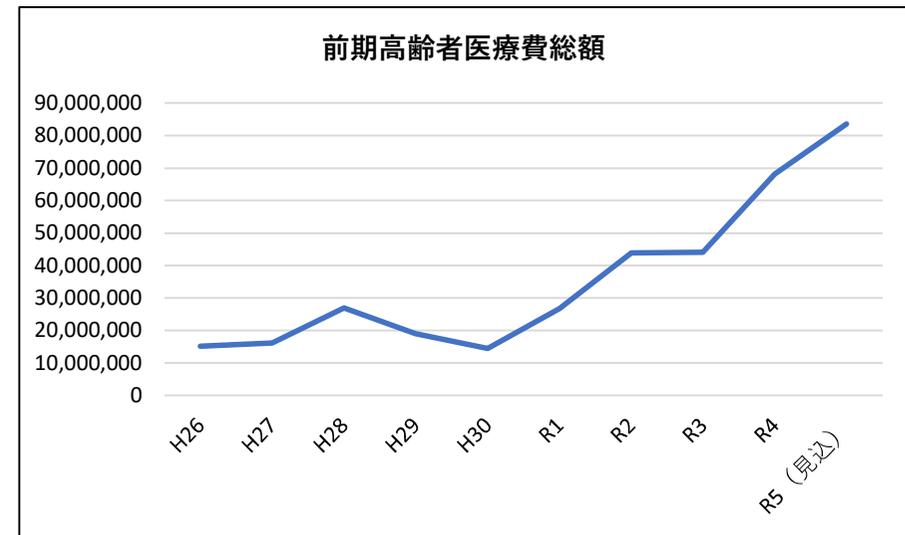
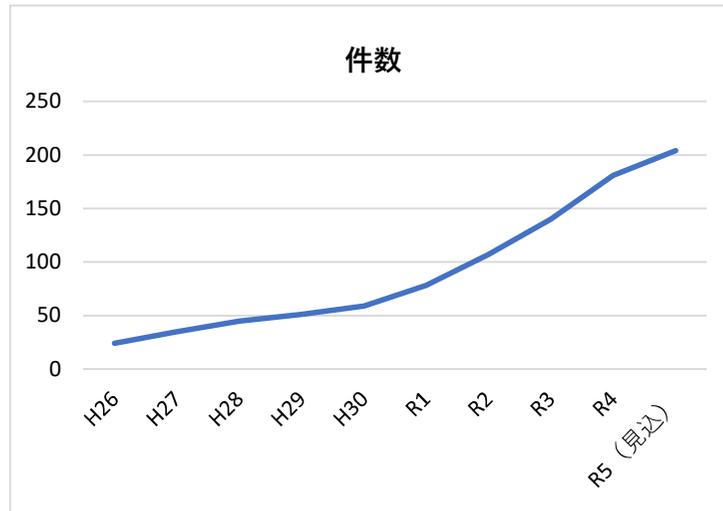
診療区分：医科計／性別：男女計／年齢階層：65歳以上計

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	医療費総額	比較指数	医療費総額	比較指数	医療費総額	比較指数	医療費総額	比較指数	医療費総額	比較指数
糖尿病	435,810	1.00	1,114,610	1.00	1,596,060	1.00	2,459,060	1.00	3,531,430	1.00
脳血管疾患	0	-	120,370	1.00	92,140	1.00	161,240	1.00	123,650	1.00
虚血性心疾患	122,670	1.00	364,610	1.00	237,330	1.00	217,440	1.00	267,700	1.00
動脈閉塞	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
高血圧症	580,940	1.00	1,193,950	1.00	1,526,980	1.00	1,960,270	1.00	2,463,820	1.00
高尿酸血症	1,130	1.00	143,010	1.00	98,950	1.00	180,670	1.00	144,680	1.00
高脂血症	633,820	1.00	917,740	1.00	990,180	1.00	1,100,280	1.00	1,519,290	1.00
肝機能障害	4,780	1.00	9,350	1.00	12,940	1.00	7,040	1.00	17,130	1.00
高血圧性腎臓障害	0	-	0	-	180	1.00	260	1.00	0	-
人工透析	0	-	384,240	1.00	0	-	0	-	0	-



前期高齢者経過

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (見込)
人数	24	35	45	51	59	78	107	140	181	204
医療費	15,133,853	16,127,869	26,956,790	19,018,712	14,423,590	26,780,968	43,863,356	44,065,110	68,149,423	83,543,905
一人当たり 医療費	630,577	460,796	599,040	372,916	244,468	343,346	409,938	314,751	376,516	409,529



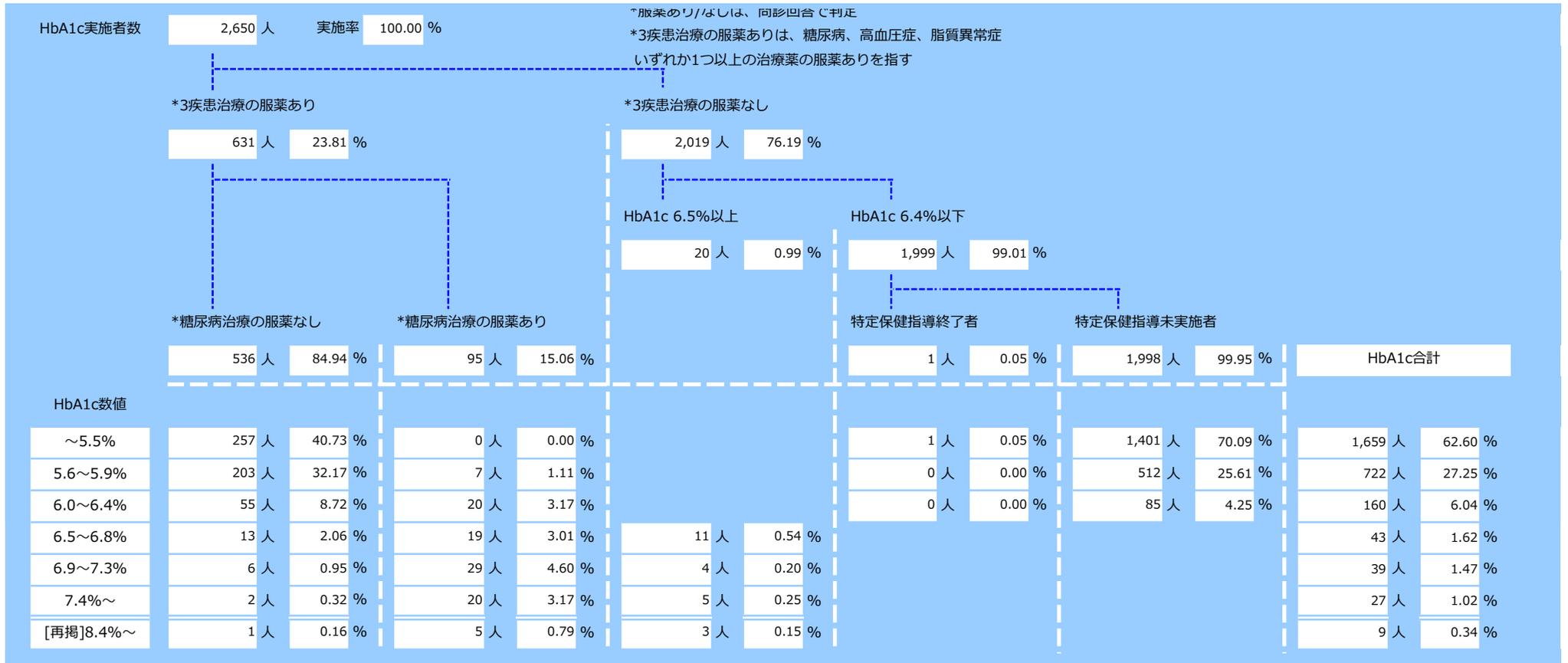
前期高齢者の一人当たり医療費が増大すると、前期高齢者納付金に大きな影響が出る。

事業主の雇用延長により前期高齢者数が増えたことで比較的健康的な前期高齢者が増え、一人当たり医療費の大幅増は避けられているが、前期高齢者数は少ないため、1回の大きな医療費（脳や心臓手術）や、人工透析1か月あたりの医療費50万円程度）などが新たに出てきた場合、大幅増が考えられる。

2022年度 糖尿病・リスクフローチャート

強制

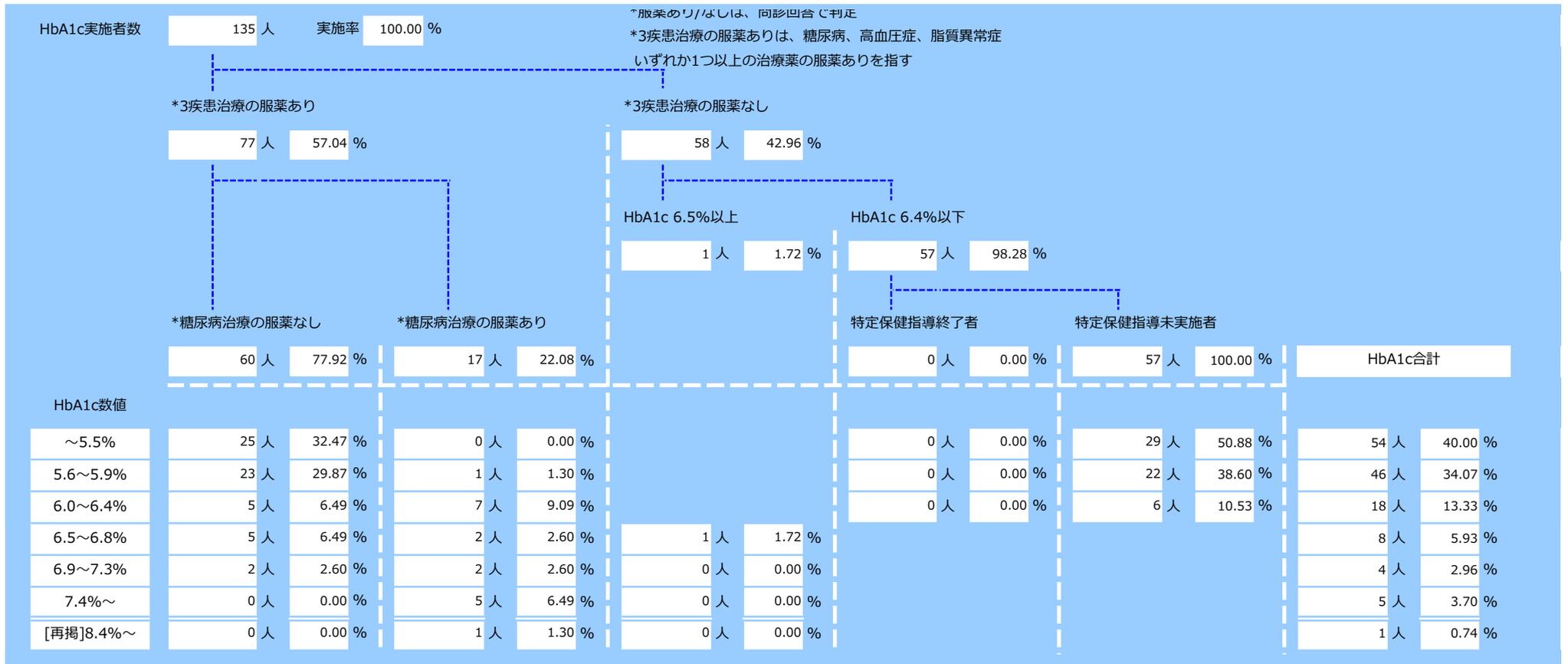
本人家族：本人家族計 / 年齢：40歳以上



2022年度 前期高齢者の糖尿病・リスクフローチャート

強制

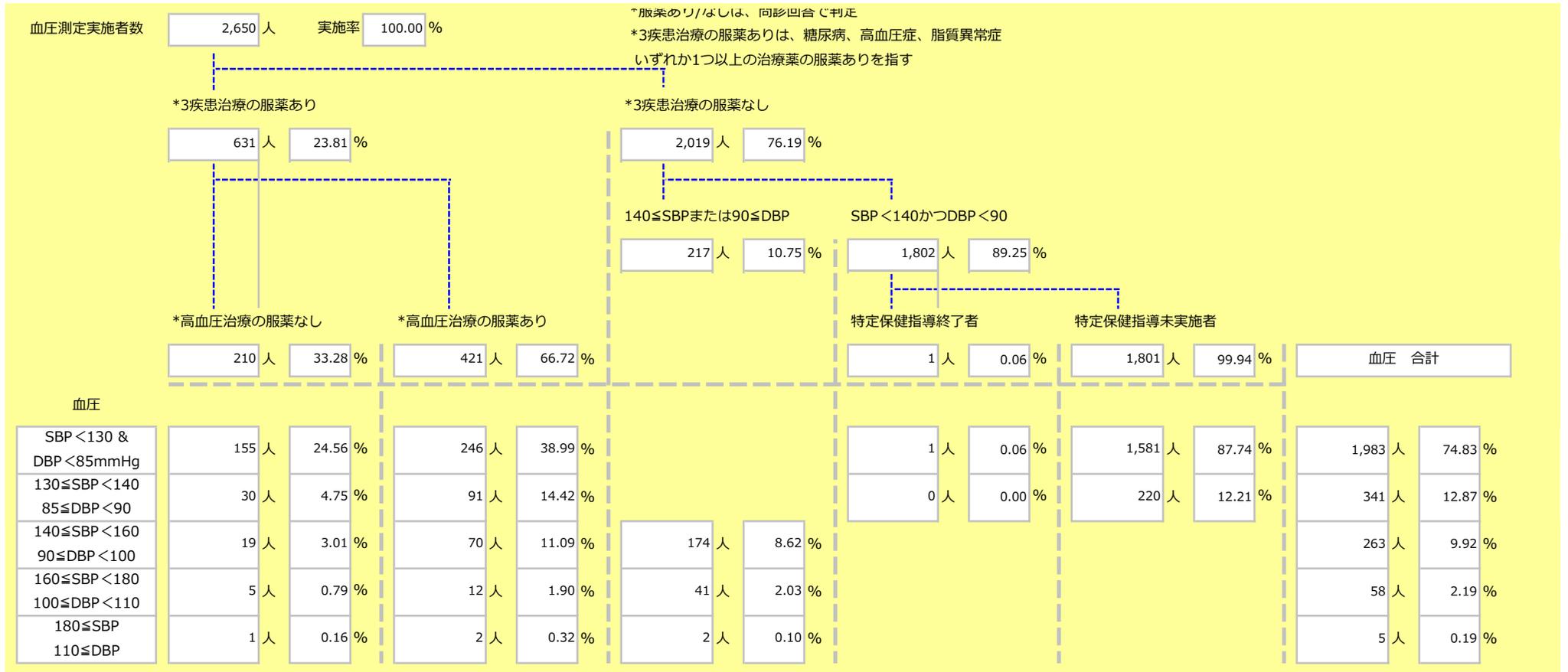
本人家族：本人家族計



2022年度 脳卒中／心筋梗塞・リスクフローチャート

強制

本人家族：本人家族計 / 年齢：40歳以上



2022年度 慢性腎臓病・リスクフローチャート

強制

本人家族：本人家族計 / 年齢：40歳以上

GFR区分 (mL/分/1.73m ²)		G 1	G 2	G 3 a	G 3 b	G 4	G 5
		正常または高値 ≥ 9 0	正常または軽度 低下 6 0 ~ 8 9	軽度~中等度低 下 4 5 ~ 5 9	中等度~高度低 下 3 0 ~ 4 4	高度低下 1 5 ~ 2 9	末期腎不全 < 1 5
尿蛋白 (+) 以上	人 数	7	48	7	2	1	3
	割 合	0.26%	1.81%	0.26%	0.08%	0.04%	0.11%
尿蛋白 (±)	人 数	21	156	27	1	0	0
	割 合	0.79%	5.89%	1.02%	0.04%	0.00%	0.00%
尿蛋白 (-)	人 数	287	1,857	222	11	0	0
	割 合	10.83%	70.08%	8.38%	0.42%	0.00%	0.00%

2022年度 前期高齢者の慢性腎臓病・リスクフローチャート

強制

本人家族：本人家族計

GFR区分 (mL/分/1.73m ²)		G 1	G 2	G 3 a	G 3 b	G 4	G 5
		正常または高値 ≥ 9 0	正常または軽度 低下 6 0 ~ 8 9	軽度~中等度低 下 4 5 ~ 5 9	中等度~高度低 下 3 0 ~ 4 4	高度低下 1 5 ~ 2 9	末期腎不全 < 1 5
尿蛋白 (+) 以上	人 数	0	3	0	0	0	0
	割 合	0.00%	2.22%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
尿蛋白 (±)	人 数	2	9	3	0	0	0
	割 合	1.48%	6.67%	2.22%	0.00%	0.00%	0.00%
尿蛋白 (-)	人 数	4	93	18	3	0	0
	割 合	2.96%	68.89%	13.33%	2.22%	0.00%	0.00%

生活習慣病・健診レベル判定分布の経年変化（2021～2022年度）

強制

年齢：40歳以上 / 本人家族：本人家族計

男性

2022年度	A.非肥満		B.肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	233	20.07%	96	8.27%
2.保健指導基準値以上	146	12.58%	147	12.66%
3.受診勧奨基準値以上	62	5.34%	81	6.98%
4.服薬投与	137	11.80%	259	22.31%

2021年度	A.非肥満		B.肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	276	23.12%	92	7.71%
2.保健指導基準値以上	142	11.89%	142	11.89%
3.受診勧奨基準値以上	64	5.36%	101	8.46%
4.服薬投与	115	9.63%	262	21.94%

改善率	改悪率
23.97%	11.07%

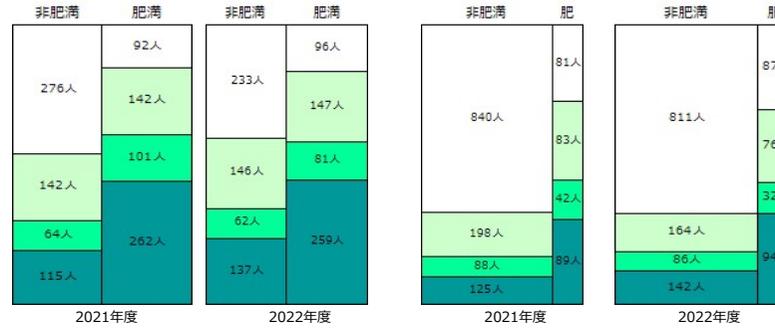
女性

2022年度	A.非肥満		B.肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	811	54.36%	87	5.83%
2.保健指導基準値以上	164	10.99%	76	5.09%
3.受診勧奨基準値以上	86	5.76%	32	2.14%
4.服薬投与	142	9.52%	94	6.30%

2021年度	A.非肥満		B.肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	840	54.33%	81	5.24%
2.保健指導基準値以上	198	12.81%	83	5.37%
3.受診勧奨基準値以上	88	5.69%	42	2.72%
4.服薬投与	125	8.09%	89	5.76%

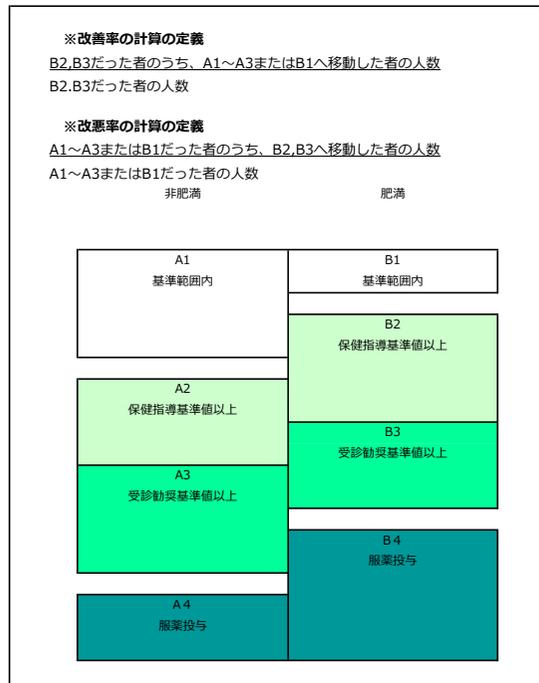
改善率	改悪率
30.25%	2.13%

生活習慣病・健診レベル判定分布（対前年変化）



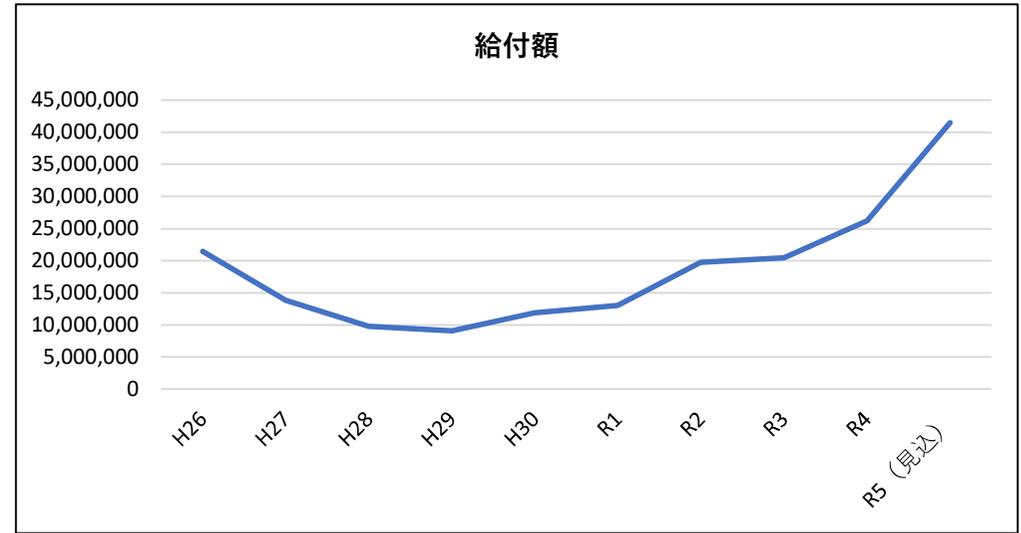
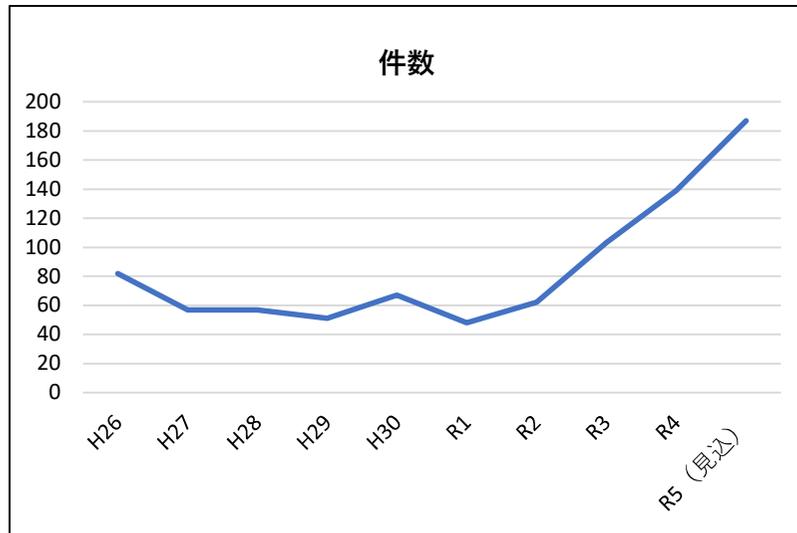
男性

女性



傷病手当金支給状況（経年）

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5（見込）
件数	82	57	57	51	67	48	62	103	139	187
給付額	21,436,615	13,841,437	9,775,551	9,105,998	11,859,208	13,051,287	19,780,744	20,497,886	26,248,349	41,479,823



事業主における休職者のうち、メンタル不調によるものは約3倍～4倍女性が多い。
 フィジカル不調によるものは、女性が2倍程度であることが多いが、メンタル不調ほどの有意差はない。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	コ	女性の休職者（傷病手当金受給者）が多い（特に精神疾患）	➔	相談窓口の充実 事業主との連携	✓
2	ウ, オ, キ, ク	雇用延長に伴う前期高齢者の増加による前期高齢者医療費の抑制	➔	保健指導による健康状態の改善 受診勧奨による早期の医療介入	✓
3	ア, イ	前期高齢者の糖尿病医療費が、他の項目に比べ大幅に増加しており、人工透析につながる恐れがある。	➔	腎機能維持に特化した保健指導 受診勧奨による早期の医療介入	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被保険者全体としては女性53.6%を占めているが、前期高齢者は男性が多く平均年齢は男性が8.5歳高い	➔	女性のための健康施策と、前期高齢者の健康施策が必要
2	被扶養者は女性が圧倒的に多く、幅広い年齢層である。男性は、ほとんどが学生である。検診受診率が8割に届かない。検診を毎年受けている被扶養者の健康リテラシーは高い	➔	被扶養者に対して、検診の受診勧奨が必要。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被保険者の生活習慣病検診は、事業主に実施義務がある定期健康診断を組み込んでいるため、ほぼ100%の受診率を維持している。 kencomは、被保険者に定着しており、歩活も定着してきた。	➔	被保険者に比べ受診率が低い被扶養者の受診率を上げる必要がある。 定着してきたkencomを有効活用し、使い慣れたアプリでできることを増やす。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

加入者の健康状態を把握し、早期受診につなげることで医療費の削減を行う。

事業全体の目標

生活習慣病検診（特定健康診査含む）の被扶養者受診率を80%まで上げる。
健診結果から受診勧奨を行い、早期に医療機関受診をすることで、高額な医療費を防ぐ。
早期に腎機能低下に介入し、前期高齢者が人工透析になることを防ぐ。

事業の一覧

職場環境の整備

予算措置なし	コラボヘルスマーケティング
--------	---------------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健康が イト及びICTを活用した健診結果の情報提供（kencom）
--------	-----------------------------------

保健指導宣伝	機関誌の発行
--------	--------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
----------	------

特定保健指導事業	特定保健指導
----------	--------

保健指導宣伝	ウォーキングキャンペーン（みんなで歩活）
--------	----------------------

保健指導宣伝	禁煙キャンペーン
--------	----------

保健指導宣伝	第一子誕生した家庭に情報誌の配布及び情報提供
--------	------------------------

保健指導宣伝	健康保険組合ホームページ
--------	--------------

疾病予防	生活習慣病検診（がん検診を含む）
------	------------------

疾病予防	オプション検診
------	---------

疾病予防	インフルエンザ予防接種費用補助
------	-----------------

疾病予防	無料歯科健診
------	--------

疾病予防	ジャックス健康ダイヤル
------	-------------

疾病予防	腎機能重症化予防
------	----------

疾病予防	女性のための健康相談窓口
------	--------------

その他	星野リゾート・トマム
-----	------------

予算措置なし	受診勧奨
--------	------

予算措置なし	再検査対象者に対する受診勧奨
--------	----------------

予算措置なし	後発医薬品差額通知
--------	-----------

予算措置なし	家庭用常備薬の販売斡旋
--------	-------------

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連													
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画																		
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度											
アウトプット指標												アウトカム指標																			
職場環境の整備																															
予算措置なし	1	既存	コラボヘルスマーケティング	母体企業	男女	19~70	その他	3	ス	-	ア	-	0	-	-	-	-	-													
													事業主と課題を共有し、協働して課題解決をする。	事業主と課題を共有し、協働して課題解決をする。	事業主と課題を共有し、協働して課題解決をする。	事業主と課題を共有し、協働して課題解決をする。	事業主と課題を共有し、協働して課題解決をする。	事業主と課題を共有し、協働して課題解決をする。	現状を把握し、各々の特性に合わせた役割分担を行い、課題解決を図る。	女性の休職者（傷病手当金受給者）が多い（特に精神疾患）											
ミーティングの実施(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-												ミーティング自体は数値に現れないため。(アウトカムは設定されていません)																			
加入者への意識づけ																															
保健指導宣伝	2,5	新規	健康ポイント及びICTを活用した健診結果の情報提供(kencom)	全て	男女	19~74	加入者全員	3	ア,エ,ケ	ア	-	-	12,713	-	-	-	-	-													
													【概要】健康ポータルサイト(kencom)を利用。歩数目標の達成などにより、ポイントの付与を受け、商品等と交換できる。健診結果の経年変化をグラフで見られる、健康記事の配信があるなど、分かりやすいため、健康に対する問題意識を持つきっかけとなる。	ノー残業ポイントなど事業主が付与するポイントもあり、事業主とのコラボヘルスで実施している。	kencomが提供しているツールを活用し、日々の運動や健診結果の確認等を加入者に楽しくわかりやすく提供する。	継続	継続	継続	継続	継続	加入者全員にkencomへ登録してもらい、日々のウォーキングや健康記事の閲覧を促す。健診結果をわかりやすく提供し、自身の健康状態を認識してもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）									
kencom登録率(【実績値】83.5% 【目標値】令和6年度：85% 令和7年度：85% 令和8年度：85% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)-												情報提供と加入者自身が自己の状況を把握するのが目的であるため(アウトカムは設定されていません)																			
保健指導宣伝	5	既存	機関誌の発行	全て	男女	0~74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	2,688	-	-	-	-	-													
													発行数(【実績値】3,450部 【目標値】令和6年度：-部 令和7年度：-部 令和8年度：-部 令和9年度：-部 令和10年度：-部 令和11年度：-部)-	結果を捕捉できないため。(アウトカムは設定されていません)																	
個別の事業																															
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診	全て	男女	40~74	加入者全員	1	ウ,ケ,サ	-	ア,イ,カ	-	20,814	-	-	-	-	-													
													被保険者は、定期健康診断とともに確実に受診してもらい、被扶養者には書面や被保険者経由で受診を促し、受診者数を増やす	継続	継続	継続	継続	継続	健診実施の促進	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）											
特定健診実施率(【実績値】92% 【目標値】令和6年度：93% 令和7年度：93% 令和8年度：93% 令和9年度：93% 令和10年度：93% 令和11年度：93%)-												特定保健指導悪化率(【実績値】10% 【目標値】令和6年度：9% 令和7年度：9% 令和8年度：9% 令和9年度：9% 令和10年度：9% 令和11年度：9%)-					受診者の健康維持(特定指導群への悪化率10%未満)														
・健診実施の促進(実施率92%以上) ・被扶養者の受診率向上												令和2年度より、事業主と共同で健診予約代行会社に委託した(健診結果管理業務などもアウトソーシング)																			
内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】30% 【目標値】令和6年度：28% 令和7年度：27% 令和8年度：26% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)-																															
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40~74	基準該当者	1	サ	-	ア,ウ	-	11,405	-	-	-	-	-													
													当年度の生活習慣病検診3か月前から特定保健指導を実施し、対象者のモチベーションを維持しやすくする。また、効果検証も当年度の生活習慣病検診で行うため、対象者に結果がわかりやすくなる。	継続	継続	継続	継続	継続	特定保健指導を実施することにより、生活習慣病を未然に防ぐ。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）											
													特定保健指導実施率(【実績値】41% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)-												特定保健指導対象者割合(【実績値】14% 【目標値】令和6年度：13% 令和7年度：13% 令和8年度：13% 令和9年度：13% 令和10年度：13% 令和11年度：13%)-						
													特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】40% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)-												腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)-						
保健指導宣伝	5	既存	ウォーキングキャンペーン(みんなで歩活)	全て	男女	19~74	加入者全員	1	エ,ケ	-	シ	-	1,440	-	-	-	-	-													
													kencomの事業、みんなで歩活に参加し、いつも使用しているアプリで参加してもらう。通常歩数連携をしているので、参加しやすい体制を整えている。	継続	継続	継続	継続	継続	運動習慣の定着	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）											

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連							
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度					
アウトプット指標												アウトカム指標													
参加人数【実績値】3,400人 【目標値】令和6年度：3,600人 令和7年度：3,600人 令和8年度：3,600人 令和9年度：3,600人 令和10年度：3,600人 令和11年度：3,600人)-												「運動習慣の定着」が定性目標のため(アウトカムは設定されていません)													
5	既存	禁煙キャンペーン	全て	男女	19～74	被保険者	1	エ,ク,ケ	-	ウ	-	363	-	-	-	-	-	禁煙の促進	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)						
参加者【実績値】5人 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)-												禁煙達成者【実績値】3人 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)-													
5	既存	第一子誕生した家庭に情報誌の配布及び情報提供	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	446	-	-	-	-	-	第一子に対する子育ての不安解消。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)						
発行数【実績値】50部 【目標値】令和6年度：-部 令和7年度：-部 令和8年度：-部 令和9年度：-部 令和10年度：-部 令和11年度：-部)-												結果を捕捉できないため。(アウトカムは設定されていません)													
5	既存	健康保険組合ホームページ	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	1,160	-	-	-	-	-	加入者全員に健康保険制度を浸透させる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)						
												閲覧数などのデータが抽出できないため。(アウトカムは設定されていません)													
疾病予防	3	既存	生活習慣病検診(がん検診を含む)	全て	男女	30～74	加入者全員	1	ウ,ケ,サ	-	カ	-	120,899	-	-	-	-	加入者の健康状態を、健康保険組合と加入者両方が把握する。事業主に対しては、定期健康診断(法定健診)部分の結果を提供する。	雇用延長に伴う前期高齢者の増加による前期高齢者医療費の抑制						
受診率【実績値】91.4% 【目標値】令和6年度：91.4% 令和7年度：92% 令和8年度：92% 令和9年度：92% 令和10年度：92% 令和11年度：92%)被保険者に確実に受診してもらう。被扶養者の受診率を向上させる。												悪化率【実績値】10% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)受診者の健康維持													
3	既存	オプション検診	全て	男女	40～74	基準該当者,その他	1	ウ,サ	-	カ	-	20,685	-	-	-	-	-	生活習慣病にプラスし、より詳しい検査を受けてもらい、疾病の早期発見を目指す。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)						
受診率【実績値】20% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)受診の促進												結果の捕捉がシステム構築されていないため、捕捉できない。(アウトカムは設定されていません)													
8	既存	インフルエンザ予防接種費用補助	全て	男女	0～74	加入者全員	3	サ	-	ク	-	4,400	-	-	-	-	-	インフルエンザの罹患予防及び重症化予防	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)						
予防接種費用補助人数【実績値】2,500人 【目標値】令和6年度：2,200人 令和7年度：2,200人 令和8年度：2,200人 令和9年度：2,200人 令和10年度：2,200人 令和11年度：2,200人)-												インフルエンザ有病者数の減少【実績値】50人 【目標値】令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)インフルエンザ有病者数の減少													
3	既存	無料歯科健診	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ウ	-	ク	-	93	-	-	-	-	-	受診の促進	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)						
受診者数【実績値】10人 【目標値】令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)受診の促進												(アウトカムは設定されていません)													
6	既存	ジャックス健康ダイヤル	全て	男女	0～74	加入者全員	3	ケ	-	ウ	-	84	-	-	-	-	-	疾病の予防	女性の休職者(傷病手当金受給者)が多い(特に精神疾患)						
相談件数【実績値】50件 【目標値】令和6年度：-件 令和7年度：-件 令和8年度：-件 令和9年度：-件 令和10年度：-件 令和11年度：-件)-												健康相談のため成果を数値化できない。(アウトカムは設定されていません)													

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度
アウトプット指標												アウトカム指標							
4	既存	腎機能重症化予防	全て	男女	30～74	基準該当者	1	イ,エ,ク	-	ウ	-	2,751	-	-	-	-	-	人工透析の予防	雇用延長に伴う前期高齢者の増加による前期高齢者医療費の抑制 前期高齢者の糖尿病医療費が、他の項目に比べ大幅に増加しており、人工透析につながる恐れがある。
												生活習慣病検診結果で、腎機能の低下がみられる対象者に、糖尿病性腎症及びその他の腎症の重症化予防を実施する	継続	継続	継続	継続	継続		
実施者数(【実績値】40人 【目標値】令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)-												腎機能悪化率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)-							
6	新規	女性のための健康相談窓口	全て	女性	19～74	被保険者	1	エ,ケ	-	ウ	-	1,243	-	-	-	-	-	女性の休職者(傷病手当金受給者)が多い(特に精神疾患)	
												女性の被保険者が多く、休職者も女性が多い当健康保険組合の状況から、女性に特化した相談窓口を設ける	-	-	-	-	-		
利用者数(【実績値】10人 【目標値】令和6年度：-人 令和7年度：-人 令和8年度：-人 令和9年度：-人 令和10年度：-人 令和11年度：-人)利用促進												各種データとの因果関係が不明(アウトカムは設定されていません)							
その他	8	既存	星野リゾート・トナム	全て	男女	0～74	加入者全員,その他	1	ス	-	シ	-	100	-	-	-	-	利用促進	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													各種データとの因果関係が不明(アウトカムは設定されていません)	-	-	-	-		
利用人数(【実績値】10人 【目標値】令和6年度：-人 令和7年度：-人 令和8年度：-人 令和9年度：-人 令和10年度：-人 令和11年度：-人)利用促進												各種データとの因果関係が不明(アウトカムは設定されていません)							
予算措置なし	4	既存	受診勧奨	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ	-	ア	-	0	-	-	-	-	疾病の重症化予防及び早期発見	雇用延長に伴う前期高齢者の増加による前期高齢者医療費の抑制 前期高齢者の糖尿病医療費が、他の項目に比べ大幅に増加しており、人工透析につながる恐れがある。
													生活習慣病検診の結果から、要精密検査及び要医療の対象者を抽出し、事業主から個別に受診勧奨を行い、受診完了報告を求める。数か月後、健康保険組合にてレセプトでの受信確認を行い、未受診の場合は再勧奨。	継続	継続	継続	継続		
受診完了率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)医療機関への新規および継続受診の促進(受診勧奨レベル最高位の対象者全員)												該当者数(【実績値】0人 【目標値】令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)リスクフローチャートの受診勧奨レベル最高位の対象者が0人							
4	既存	再検査対象者に対する受診勧奨	全て	男女	30～74	基準該当者	3	イ	-	ア	-	0	-	-	-	-	健康診断後のフォローによる早期治療の促進、重症化の予防	雇用延長に伴う前期高齢者の増加による前期高齢者医療費の抑制 前期高齢者の糖尿病医療費が、他の項目に比べ大幅に増加しており、人工透析につながる恐れがある。	
												生活習慣病検診の結果から、要再検査の対象者を抽出し、健康保険組合から個別に書面にて受診勧奨を行い、数か月後にレセプトで受診確認する。未受診の場合は再勧奨。	継続	継続	継続	継続			継続
受診勧奨実施人数(【実績値】230人 【目標値】令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)-												再検査対象者数の減少(【実績値】10人 【目標値】令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-							
7	既存	後発医薬品差額通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ	-	シ	-	0	-	-	-	-	医療費の適正化、ジェネリック医薬品の利用率向上	該当なし	
												差額通知を行い、ジェネリック医薬品の利用を促す。	継続	継続	継続	継続			継続
閲覧率(【実績値】20% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)-												ジェネリック医薬品の利用率(【実績値】82% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-							
5	既存	家庭用常備薬の販売斡旋	全て	男女	18～65	被保険者	1	ス	-	シ	-	0	-	-	-	-	申込の促進	該当なし	
												kencomのシステムを利用し、家庭用常備薬の斡旋販売を行う。	継続	継続	継続	継続			継続
申込率(【実績値】10% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)申込の促進												結果の捕捉がシステム構築されていないため、捕捉できない。(アウトカムは設定されていません)							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
 注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
 注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他
 注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
 ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他